

# KOCHI 2022 ROTARY 2023 CLUB SINCE 1937



IMAGINE  
ROTARY

2022-23年度 RIテーマ

## 週報



Weekly report 第3521回 2022年11月15日 2022年11月22日発行

### ● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。先週は欠席させていただきました。実を言いますと、胸の中に異物を入れてまいりました。何カ月か前から、歩き始めたときに何となく胸が苦しいというか、ちょっと変な感じというのがずっとあったのですが、歩いているうちに取まって、

そんなことが続くうちに、今度は胸全体、肩からずっと苦しいということがありました。コロナの後遺症かな、肩が凝ったのかな、そんなことだろうなと思って、すぐ収まるので放っていたのですが、土曜日に痛みが、ジトジトと2時間ぐらい止まらなくて、もういかんと思って近森病院へ行きました。

私は、狭心症というのは刺すような痛みがきて、脂汗をかいて、七転八倒すると思っていましたが、歯の辺りから肩がずっと重たいという症状が何度か続いて、じわじわという狭心症というものもあるそうで、私のはそちらのタイプだったようです。行ってすぐカテーテルで、ステント入れなきゃというこ

とになって、そのまま手術をしました。心臓の手術ですので、麻酔をしないんです。カテーテルを通す間ずっと痛いんです。我慢ができない人ですので「先生、さっきより痛いですよ、どうして」「寒い」と言いたい放題、大きな声でわめいて「もうちょっとですから、もうちょっとですから」とわが子ぐらいの先生が、私を慰めながら終わりました。土日と入院して、日曜日に先生から「もうすることはありません。これで苦しいとかなければ、明日は帰っていいです。ロータリーも出席しても構いません」と言われましたが、さすがに先週はお休みさせていただきました。

激しい運動さえしなければ、普通に暮らしていいということですが、一生、これと仲良くしていくことのようにです。皆さんにはご迷惑をかけずに、何とか会長職は務めたいと思っていますので、よろしく願いいたします。



### ■本日のプログラム [11月22日]

門田義仁ガバナー補佐訪問例会

会	長	杉	本	芙美子
副	会	中	澤	陽一
幹	事	佐	竹	新市
副	幹	細	田	長司
会	報	南	範	子

## ● ローターソング「四つのテスト」



## ● ローター情報委員会より

来週金曜日、第1回研修会を行います。現在、29人中10人ほどの出席しかありません。全員が終わるまで、しなければいけないのが委員会の任務ですので、2回ぐらいで終わるように出席のご協力をお願いします。

## ● 幹事報告

- ・本日の卓話者の久松さんの著書を販売していますので、お買い求めください。
- ・来週は、ガバナー補佐訪問例会です。例会終了後、クラブ協議会を行います。



## ● ゲストスピーチ

### 変わる！日本の国語教育 ～幸せな未来は言葉で創る！～

アイデア国語教室主宰・合同会社アイデア代表 久松 由理氏



現在、日本で明治維新以来という戦後最大の教育改革が進められています。私が国語教室を開いた翌年、2011年に始まり、10年以上経った今も続行中という大改革です。ところが、未だ多くの学校や進学塾が、古い学力観にしがみつки、21世紀に必要な進学力を育てる授業に切り替えないまま教育を続けているのが実情です。そのため、授業がさほど変化しないのに、入試の形態だけがどんどん変わっていくという受験生にとっては気の毒な状態が起きています。

一つは、戦後長い間、日本の学校や進学塾が、人の能力を評価するために使ってきた見える学力偏重の学力観です。これは、知識を暗記する力や計算などの情報処理能力のことで、従来のテストで、点数が付けられる、偏差値が出る、見える学力です。しかし、現在、私達は1人1台のスマホやタブレットを持っていて、どう頑張ってもAIに叶わない暗記力や情報処理能力は、21世紀のリーダーの条件ではないのです。

今、世界の有名大学や一流企業が探しているのは、思考力、表現力、判断力、幅広い教養や学ぶ意欲、発信力など、これまで日本の学校や進学塾が見向きもしてこなかった、見えない学力を持つ人材です。最近、非認知能力と呼ばれて話題になっていますが、人の能力の大部分を占めるといわれる非認知能力は、コンピュータが苦手とする、人間ならではの能力で、この力に長けた子をいかに育てるかが、21世紀の国力を決するとまで言われていて、世界の先進国は、もう20年以上前から、国をあげて非認知能力の育成に取り組んでいます。

そうした世界の動きに足並みを揃えようと、日本の大学入試もこの10年ほどで随分様変わりしました。学力だけで

なく非認知能力も含めて、人物を多面的に評価する総合型選抜入試が急増しています。集団討論で思考力や表現力を見て、ボランティア活動や探求活動等で人間性や才能を総合的に評価する入試ですが、その合格法や情報を教える学校や塾が地方にはほとんどなく、高知の高校生の多くが何も知らないまま、一般入試という古い入試スタイルを選択しています。

こうした評価基準の変化は、企業の採用試験でも同様で、例えば「農業を発展させるためにはどうすればいいか」「コンビニでバイトしたくなるアイデアを考えよ」「投資したくなる魅力ある企業のプレゼンをせよ」といったテーマでグループディスカッションやプレゼンをさせて、思考力やコミュニケーション能力を評価して、社員を選考する企業が増えています。

可哀想なのは、この現状を知らず、勉強は受け身でよい、教えられた知識を真面目に暗記していれば将来は安泰だと思い込まされ、非認知能力を磨かないまま成長してしまう子どもたちです。1日も早く、教育者や保護者の教育観をアップデートして、子どもたちに新時代の学力を授けなければいけないのですが、なぜ教育現場で改革が進まないのかというと、進学力をどう育てればいいのか方法が分からない。その評価の仕方が確立されていないというのが実情のようです。

世界の先進国は、読書と作文でこの力を育て、集団討論や論文試験で評価しています。アメリカでは9歳までに国民の読解力を育て、高校では課題文を読ませて、それについて討論をする授業が中心です。討論中の発言内容が試験の点数に加味されますので、生徒は必然的に大量の本を読むこととなります。また、どの大学を受けるにも小論文が課せられるため、日頃から大量の作文課題をこなしています。フランスでも高校生は大学入学試験の資格を得るために、4時間にも及ぶ国家統一哲学作文試験、バカロレアと言うものを受験します。相当量の読書と作文をしていないと書くことができない難しい試験です。

私は12年前、アメリカやフランス、イギリスなどの母国語



教育を手本に非認知能力を育てる教室を開きました。翌年、新学習指導要領が施行され日本が世界の教育を追いかける形になり、はからずも、私どもの塾は新入試に強い塾になったわけです。そして、時代にマッチしている非認知能力の育て方、読書と作文の新しい指導法をぜひ全国の皆さまに知っていただこうと「国語の成績は観察力で必ず伸びる」という本を出版し、発売と同時に、日本一の教育激戦区、東京都港区に新教室をオープンしました。

人は情報の8割以上を目から取り入れています。見たことをどう捉え、どう解釈するかが人のあらゆる能力の優劣に大きく影響しています。子どもたちの読書風景を見てみると、読書をするにも観察力が磨かれていないと正しく文章が読めないことに気づき、そこから10年をかけて、読解力を飛躍的に伸ばす観察力トレーニングを開発しました。このトレーニングは、子どもの国語力が伸びるだけでなく、何歳から取り組んでも脳が活性化され、新しい物の見方やアイデアを生み出すことができるようになります。これは仕事をする上でも有用で、社員教育の手法としても使えます。

まず、飛ばし読み、拾い読みを改善する、気づく目を磨くトレーニング。例えば、画家、フェルメールの「牛乳を注ぐ女」という絵を見て、彼女を貴婦人だと思うか、貴婦人ではないと思うか。その答えと、なぜそう思うのか理由も考える。自分の意見に「なぜなら」と根拠をつけて説明するのが新時代の作文です。

次に鍛えるのが、客観的な目。主観的な解釈で他人の言動や文章の内容を誤解しないよう、あらゆる視点から物事を捉える目を養うトレーニングです。このように、視点の転換トレーニングを積み重ねると、子どもたちは一つの事象も、どの立ち位置から見るかで見え方が違い、見る人の数だけ真実がある、正義があることを経験的に学びます。思い込みをなくすということは、こうでなければならぬという自分の既成概念を外していくことです。自分とは異なる意見や価値観でも受け入れることになり、仕事や学習の効率が上がったり、人間関係が円滑になってきます。多様性の時

代と言われる今、こういう視点を子どものころから持つておくことは非常に大切です。

最後は、行間が読めない子の読み癖を改善する、見えな物を見る目を磨く観察トレーニングです。文中に書かれていない筆者のメッセージ、主人公の心情などを読み取る、国語の中でも一番難しい読み方です。作者のメッセージは、読んだときに「なぜ」と引っかかるところに隠れています。筆者がどうやって、どこに隠して表現したかを読み解く作業で、文章に書かれていないメッセージが読み取れるようになると、世界の文豪たちと直接心で対話するような、贅沢な読書体験ができるようになります。そして、人を見る目が変わってきます。嫌なことをされたり、腹の立つことを言われても、一呼吸おいて、その人がここに至るまでに何があったのかを考えられるようになります。

国語力を磨くということは、穏やかな気持ちになって、ストレスフリーに生きていくために欠かせないことですが、さらに、想像力、洞察力があると、世界が平和になるだろうと思います。「これが21世紀の時代を幸せに生きるための新しい国語です」と言いたいのですが、実は日本最古の歌集、万葉集の中に「しきしまの<sup>やまと</sup>倭の国は<sup>ことだま</sup>言霊の<sup>たが</sup>佐く<sup>まき</sup>る国ぞ真幸くありこそ」という柿本人麻呂の和歌があります。日本の国は言葉の持つ力によって、万事順調に運び、幸せになっている国だ。これからも幸せでありますようにという意味です。つまり、日本人は古代から、言葉に力が宿ることを知っていて、幸せになるために国語を使いこなしていたのです。

最新の脳科学では、言葉で脳が変わるということは常識です。私は子どもたちに、とにかく明るい言葉、人や幸運があなたに向かって飛んできたくなるような、ポジティブな言葉を使って生きていच्छゃい。それが学力向上、ひいては幸せな人生をつくる秘訣だからと教えています。

私は、言葉の持つ力を日本中の子どもたちに届けたいという夢があります。この国をもう一度世界の中で輝く国にするために、言葉で幸せをつくりだせる賢い子どもを一人でも多く育てたいと思っています。



◇ 例 会 変 更 ◇

高知南RC 11月24日 ロータリー休日(阪)      高知西RC 11月25日 ロータリー休日(三)

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

 **ニコニコ箱** 【敬称略】

- 藤田 徹也 久松由理さん、今日は卓話をありがとうございます。もっと早くお話を伺っていたら、私の国語力も違っていたことでしょう。本を読んでアイデアをふくらませていきます。
- 川崎 敦子 久松由理様、本日は高知ロータリーの卓話を快くお引き受けくださり、ありがとうございます。「国語の成績は観察力で必ず伸びる」の著書を早速孫のために拝読させていただきます。
- 亥角 政春 久松先生、本日は卓話をありがとうございます。残念ながら、出張のためお話を伺えませんでした。例會終了後に、弊社スタッフによる先生の著書の販売の機会をいただきありがとうございます。本日、皆さまに「ブックサンタ」のチラシをお配りさせていただいております。「読書」により困難な状況にある子どもたちが「笑顔」になれる素晴らしい活動があると知り、本年より参加いたしました。ご家族、知人、社員の皆さまへのご案内をよろしくお願ひ申し上げます。
- 入交 英太 本日、メールボックスへ、東洋園芸食品の漬物贈答品のご案内を入れさせていただきました。お配りした千枚漬けを気に入っていただければ、ぜひご検討ください。また、中田由季会員のお気に入りであるキムチ商品は、受付期限が12月9日となっています。お早めどうぞ。
- 西岡 剛 前回の例会でお誕生日を祝っていただきありがとうございます。ニコニコでした。
- 竜口 淳也 結婚記念日をお祝いいただきましてありがとうございます。今年も何とか妻が我慢してくれそうです。
- 安藤 一臣 大変遅くなりましたが、結婚記念日をお祝いいただきありがとうございます。
- 正延 知行 昼食のときに、懐かしい朝ドラの曲が流れましたので、思い出しましたが、来年春の「らんまん」の主題歌を歌ってくれるのが、あいみょんさんに今日決まりました。どんな曲を披露してくれるのか、今から楽しみです。



◇ 出 席 率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイキャップ	出席率
11月15日	(-9)92	61	18	4	78%
11月 1日	ロータリー休日				

● 累計額 [11月15日現在]

ニコニコ箱	323,500 円	ロータリー <small>さんさん</small> 基金	74,834 円	ポリオ募金	226,800 円
-------	-----------	------------------------------	----------	-------	-----------

■ 次週のプログラム [11月29日]

ゲストスピーチ  
海辺の杜ホスピタル管理部参与  
健康推進室保健師&シニア産業カウンセラー  
榎本 宏子 氏  
「ハラスメント防止のヒント」

創 立 昭和12年10月  
例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館6階  
TEL(824)8660 FAX(824)2529  
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>